

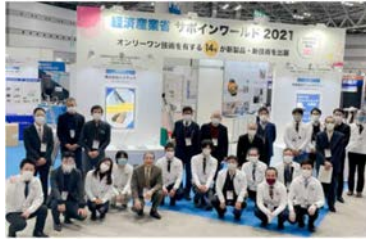
中小製造業の成長戦略に資する「ナレッジ・マネジメント」

■古くて新しい「知的資産経営」

- ・ **ポイント**：知的資産とは、人材・技術・ネットワーク・ブランドなど、企業が保有する「目に見えない資産」のこと。特許やノウハウなどの知的財産のみならず、企業の強みとなる資産を総称する幅広い考え方。いわば「企業の競争力の源泉」です。
- ・ **弊社の取組**：中小企業が自らの強みを認識し、社内外の資源と組み合わせることで成長戦略を描き、収益につなげる「知的資産経営」が拡がりつつあります。私たちの現場でも関連業務が増えています。

■コア技術に注目したアライアンス

- ・ **ポイント**：戦略的基盤技術高度化支援事業(いわゆるサポイン事業)で生まれた製品の販路開拓に従来から取り組んでいます。加えて、その製品を生み出した「中核技術」に着目、大企業OBや専門家の知見やNWを生かして、新たなアライアンスに繋がっています。
- ・ **弊社の取組**：十年程前に近畿で取り組んだのを皮切りに、各地で展開しています。コロナ禍でしたが、昨年度も中国・九州にて実践しました。※注1



■中小製造業のオープンイノベーション

- ・ **ポイント**：中小企業の技術課題の解決に際して、大学や公設試との連携も有効です。
- ・ **弊社の取組**：大学・公設試・支援機関・金融機関が連携し、中小企業の技術課題を解決するオープンイノベーションのPF「Tech Connect KANSAI」の事務局を数年来担っています。
- ・ また、京都信用金庫さんのアレンジによる伝統産業×大企業の開放特許による「令和鉄扇」などもリリースされました。※注2



■中小企業間の第三者承継による地域産業の維持

- ・ **ポイント**：経営者の高齢化と後継者不足等から中小企業の休廃業が増加。令和6年までに約650万人の雇用、約22兆円のGDP、更にサプライチェーンの喪失が見込まれます。
- ・ **弊社の取組**：中小企業間の「第三者承継」を促すことで、地域の雇用と産業を守るための挑戦を支援しています。※注3



2020年度のナレッジ・マネジメント関連業務

- 産学官金ネットワーク事業(近畿経済産業局) ※注2
- 開放特許等を活用したビジネスアイデア学生コンテンツ開催事業(近畿経済産業局)
- ものづくり中小企業事業化支援事業(中国経済産業局) ※注1
- ものづくり中小企業と支援人材のための事業化向上事業(中国経済産業局)
- 知財支援体制強化及び知財施策普及・広報事業に係る役務事業(九州経済産業局) ※注3
- 戦略的基盤技術高度化支援事業に係る評価支援業務(九州経済産業局) ※注1
- 中小企業製造業の知的資産承継に向けた地域支援体制の検証事業(延岡信用金庫) ※注3

●チームメンバー

- ホアンゴックチャン(研究員)
 - ・ 越南出身のトリリンガル/「サクッとグローバル」担当
 - 益山 周三(研究員)
 - ・ HPから漫画まで熟すデジタル・クリエイター
 - 松田 剛(研究員)
 - ・ 技術開発や知財活用に係るPFディレクター
 - 山部健介(主任)
 - ・ 産業・商業・観光を幅広くカバーする若手ホープ
 - 江藤 慎介(主査)
 - ・ 創造都市・循環経済担当/二級知的財産管理技能士
 - 貴船 律子(主査)
 - ・ 東京・首都圏担当/産業政策のスペシャリスト
 - 高野 隆嗣(執行役員計画部長)
 - ・ 技術士/認定都市プランナー(都市・地域経営)
- ※「京都産業政策研究会」の事務局運営

その他の主な昨年度実績

【産業振興/ものづくり支援】

- 中小企業の現状 一流通産業編(東京都)
- 物流効率化に向けたプラットフォーム推進業務(滋賀県)
- 産業振興基本戦略策定支援業務(宝塚市)
- 新型コロナ感染症の影響に係る事業者調査(岸和田市)
- 地域経済動向調査(枚方市)
- 地域産業政策アンケート調査(大阪経済大学)

【都心商業/まちづくり支援】

- 地域商業持続的発展推進事業(近畿経済産業局)
- 中町伝統文化伝承・未来創造プロジェクト基本計画等(八王子まちづくり公社)
- 新たなまちづくりルールに係る調査研究(三条名店街)
- 四条通における街頭アンケート調査(四条繁栄会)

【観光振興/地域ブランド化支援】

- 地域ブランド展開マーケティング支援(近畿経済産業局)
- 関西におけるオープンイノベーションを創出する地域一体型オープンファクトリー調査(近畿経済産業局)
- 発酵産業成長促進プロジェクト(滋賀県)
- 観光人材育成等地域支援事業(日本旅行/びわ湖ビジターズビューロ)
- 若狭連携出向宣伝調査(NTTドコモ/若狭観光連携)
- 丸亀観光戦略策定支援(丸亀市観光協会)

【創造都市支援】

- 文化芸術創造都市推進事業(文化庁)
- アート&テクノロジー・ヴィレッジ構想(京都府)
- 文化振興ビジョン改定(姫路市)
- 文化政策ビジョン策定支援業務(東大阪市)
- 文化芸術推進基本計画(豊中市)

【PICK UP】国民が食する生鮮食品流通を担う「卸売市場の再生」

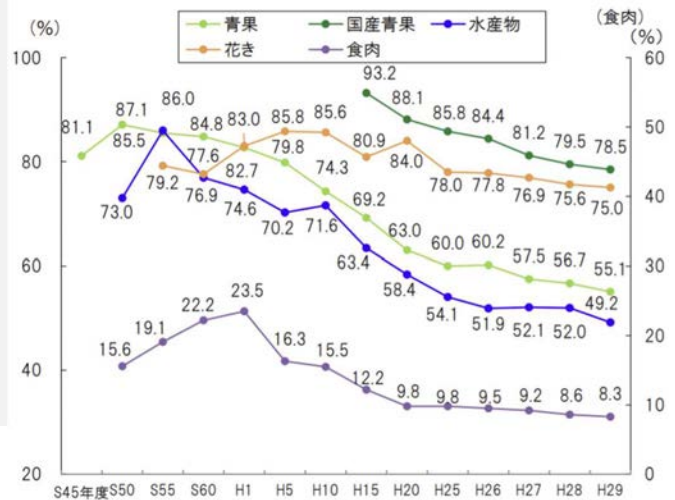
■全国200か所以上ある公設卸売市場を取り巻く状況

- ・全国数多くの「産地」から「都市」へ生鮮食品を届ける拠点が卸売市場で、全国に1,000か所以上、うち地方自治体が設置する公設も200か所以上あります。
- ・産地との直接取引や直売所等の増加により卸売市場経由率は減少傾向にあります。国産青果物の8割近くは卸売市場を経由する重要な食流通インフラです。
- ・しかし卸売市場の多くは施設の老朽化が進行し、衛生面や効率面等の機能が十分ではなく、また人口減少・少子高齢化の中で、食需要の減少は確実な未来です。さらに、2020年の改正卸売市場法施行によって規制緩和が進み、公設市場の開設・運営への民間参入も含めて、市場独自で運営や活性化、再整備等について戦略が必要となっています。

■取組ポイント

- ①調査や経営戦略検討と再整備検討、そして事業手法検討の3つの部分を一通貫で対応
- ②卸売市場に関する豊富な実績や情報をもとに、開設者や場内業者とともに、各社の経営展望も踏まえた現実的な検討を支援
- ③食関連産業振興の視点や市場周辺まちづくりの視点、市民目線の視点から最適解を追求
- ④市場の個別事情に応じた民活手法（PPP/PFI）やサウンディング調査などを提案

卸売市場経由率の推移（重量ベース、推計）



資料：農林水産省

【近年の関連業務で関わった卸売市場（開設自治体）】

※建築プランニングデザイングループと連携しています。

- 山形市（2019-20） ●浜松市（2020） ●川崎市（2019-20）
- 名古屋市（2019） ●東近江市（2019） ●豊田市（2017-19）
- 岐阜市（2018） ●富山市（2017-18） ●奈良県（2016-17）
- 大津市（2013-14） ●松山市（2012） ●大阪市（2012） 等

■2020年度のおもな業務

【農業や観光の計画】

- さいたま市農業振興ビジョン改定
- 東村山市第3次農業振興計画策定
- 明日香村農業戦略策定 ○明日香村観光戦略策定

【地区活性化検討・支援】

- 大岩地区営農再開検討（石土土地改良区（茨木市））
- 茨木市大岩地区人・農業プラン作成

【拠点活性化検討・支援】

- （仮称）道の駅姫路整備基本構想策定（姫路市）
- 東吉野村活性化施設経営診断（東吉野村）
- 兵庫県立総合射撃場（仮称）運営検討支援（兵庫県）

【6次化・事業化支援】

- 6次産業化支援（滋賀県）
- 歴史を生かした里山資本主義による持続可能な未来集落形成事業（真庭市）
- オープンたかつきネットワーク会議運営

【卸売市場、食流通】

- 山形市公設地方卸売市場経営戦略（経営展望）策定アドバイザー
- 浜松市中央卸売市場のあり方の検討に係る支援

【総合計画】

- 第7次池田市総合計画策定支援
- 第4次東吉野村基本構想策定



■チームメンバー

- 原田 弘之（執行役員、地域産業イノベーショングループ長）
 - ・技術士（農業部門・農村環境）
 - ・認定都市プランナー（都市・地域経営）に2020年度合格
- 武藤 健司（主査）
 - ・技術士（農業部門・農村地域・資源計画）
 - ・農業簿記3級、野菜ソムリエを2020年度に取得
- 遠藤 真森（研究員）
 - ・2021年4月から兵庫県豊岡市に派遣（グッドローカル農業推進室配属）※総務省地域活性化起業人制度を活用

■社会活動等

- 日本観光研究会関西支部・地区懇話会（シンポジウム）の開催支援（2021年3月、尼崎市内で開催）
- 「きたなかマルシェ」の継続支援
 - ・令和元年度から毎月開催される泉佐野市の若手農業者によるマルシェの立ち上げと継続を支援。

